

平成 27 年度 第 5 回 総合教育会議

平成 28 年 2 月 5 日（金）
午後 1 時 30 分から 3 時まで
県庁別館 8 階第 1 会議室 A、B、C、D

次 第

1 開会

- (1) 知事挨拶
- (2) 教育長挨拶
- (3) 実践委員会委員長挨拶

2 議事

- (1) 教育に関する「大綱」（最終案）
- (2) 来年度の協議事項
- (3) その他

3 閉会

<配布資料>

資料 1 教育に関する「大綱」策定スケジュール等

資料 2 教育に関する「大綱」（素案）に係る県民意見提出手続きの結果

資料 3 平成 28 年度 静岡県総合教育会議の協議事項（素案）

【別添資料】 ふじのくに「有徳の人」づくり大綱（最終案）

教育に関する「大綱」策定スケジュール等

月	項 目
12月	●12/17 第4回 総合教育会議 (大綱素案に関する協議)
1月	●1/13 第5回 地域自立のための 「人づくり・学校づくり」実践委員会 (素案の報告)
2月	●2/5 第5回 総合教育会議 (大綱最終案に関する協議、調整)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・大綱リーフレットの作成 ・県議会への報告、大綱リーフレットの公表 ・大綱リーフレットの配布、周知
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全ての幼稚園、保育所等、小学校、中学校、高校、特別支援学校、大学等、教育関係諸団体にリーフレットを配布 ・各市町及び市町教育委員会にリーフレットを配布し、内容を周知 ・県、県教育委員会のホームページに掲載

・パブリックコメント
の実施
〈H27.12/25～H28.1/22〉

・市町、関係団体等へ
の説明

資料 2

教育に関する「大綱」（素案）に係る県民意見提出手続きの結果

- 1 意見募集の期間 平成27年12月25日(金)から平成28年1月22日(金)まで
- 2 意見の提出状況 提出件数10件（4人）
- 3 提出された意見及び対応

	意見の内容	意見への対応
1	今年度の総合教育会議の協議結果を反映させ重点取組方針を定めたとのことだが、これまでの教育方針が大きく変わるのか学校現場は不安があると思う。	大綱は、本県の教育の目標や施策の基本方針をまとめたものであり、県総合計画や県教育振興基本計画で示してきた方針と大きく変わるものではありません。今後、学校現場に対しても広報に努めてまいります。
2	「有徳の人」という言葉が学校や県民に十分浸透していない。さらなる広報活動をお願いしたい。	御指摘の点を踏まえ、今後、大綱の周知に努めてまいります。
3	子供たちの思いや願いを聞いた上で決めてほしい。	大綱は知事と教育委員会が協議し作成したものです。今後も、子供たちや学校現場の声を踏まえ、大綱に示された施策の推進等に努めてまいります。
4	大人や経済の目線で、子供たちや学校、教育を語ることをそろそろやめてはどうか。	
5	教育の条件整備を第一に考えてほしい。	
6	様々な家庭環境がある中、全ての高校生に多額の費用がかかる海外渡航をさせるのはハードルが高い。県として具体的支援策を示してほしい。	
7	親の関わりの少ない子供ほど、問題行動を起こすことが多いように思う。家庭教育の充実に当たっては、幼少期から親が関わる機会を増やすことが大切だと考える。	総合教育会議で協議し、調整されたものについては、できることから着実に実現していくこととしております。御指摘の点を踏まえ、今後、県と県教育委員会が連携して、大綱に示された施策の推進に努めてまいります。
8	県内進学校の生徒は、県内大学にあまり魅力を感じていないように思う。高校生が魅力を感じるような取組を大学に求める。	
9	「命を守る教育」は、教科指導よりも重要な教育であると思うが、意識の低い教員が多い。教員に対する指導が必要である。	
10	地域の人材が生徒と関わることはとても大切であるが、学校によって取組に差がある。地域の人に関わってもらうことを全ての学校に義務付けてはどうか。	

平成28年度 静岡県総合教育会議の協議事項（素案）

「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」の実現を図るため、平成28年度の県総合教育会議においては、平成27年度の協議事項について、随時、進捗状況を報告するとともに、以下の事項を協議する。

○高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用

想定される論点

- ・高等教育機関相互の連携、高等教育機関と研究機関の連携
- ・県内高等教育機関・研究機関・文化施設と小中高校の連携・交流
- ・匠の技を持つ人材の教育現場における活用

○個々の才能や個性を伸ばす多様な学習機会等の提供

想定される論点

- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・英才教育の推進
- ・高校から大学への「飛び入学」の推進

○徳のある人材の育成

想定される論点

- ・読書活動の推進
- ・本物の芸術・文化に触れる機会の充実
- ・コミュニケーション能力の向上

○地域ぐるみ、社会総がかりで取り組む教育力の向上

想定される論点

- ・家庭教育の支援
- ・地域の教育力向上
- ・幼児教育の充実